

news
atom
ニュースアトム

TEPCO

柏崎刈羽原子力発電所

APRIL
2023 **4**



- 福島第一原子力発電所の事故を教訓にするために ほか[発電所ニュース]
- 入社2年目の社員の今[おしえて!エコロン]
- より良い発電所運営のために、協力企業の皆さんと共に
カイゼン活動に取り組んでいます [発電所の一員として]
- 皆さまのご質問におこたえします ● 地域の皆さまと共に ● サービスホール4月の催し

「水仙と桜咲く鶴川河畔」
柏崎市上条

「県民の皆さまへの説明会」を開催しました

1月30日の柏崎市、31日の刈羽村に続き、2月7日に長岡市、9日に上越市、11日に新潟市においても「県民の皆さまへの説明会」を開催しました。県内5会場に5日間で約300人の方にご来場いただきましたこと心より感謝申し上げます。

いただいたご意見・ご質問や当社の回答内容については、当社ホームページにて公開しています。

詳細はこちら



福島第一原子力発電所の事故を教訓にするために

福島第一原子力発電所の事故から12年が経ち、柏崎刈羽原子力発電所では3月11日(土)、所員全員で二度と同じような事故を起こさないための活動を実施しました。

●所員集会

地震発生時刻に黙とうを行い、黙とう後には所長の稲垣から所員へ「日ごろから設備や仕事のやり方の弱さをしっかり掘み日々改善していくこと」の大切さについて話をしました。

●職場対話会

所員全員が、それぞれが所属するグループ毎に対話会を行い、事故の反省と教訓を踏まえて、自分たちの業務に照らし合わせ、当社に残る問題点がないか、どう対応するべきかを議論しました。

●若手所員との対話会

2022年度に入社した若手所員を対象に、所長の稲垣が福島第一原子力発電所の事故で経験したことや感じたことを伝える説明会を行いました。説明会の後には、若手所員と発電所幹部による対話会を行いました。

対話会に参加した若手所員の声「緊急時に私たち若手所員はどうすべきか、何ができるのかを改めて考える機会になった」



活動を通じて得た教訓を、一人ひとりの行動につなげ、地域の皆さまに信頼される発電所を目指してまいります。

当日の様子はYouTube動画でも紹介しています



おしえて! エコロン



2022年5月のニュースアトムで新入社員として紹介したみんなに、担当業務や、この1年で学んだことについて聞いたよ。

2022年5月号はこちら



(1年前)

きむら しゅん

木村 隼(第一保全部 原子炉(1・4号)グループ) 福岡県出身

発電所建屋内の空調設備の保全業務を担当し、業務を通じて様々な知識やふるまいを学び、私自身に何が足りないのかを把握したうえで、何をすべきかを考えさせられる1年だったと感じています。新潟に住み、雪かきの大変さを実感しましたが、お米や海の幸など美味しいものを堪能しています。



(1年前)

こいで みなみ

小出 南(第二運転管理部) 上越市出身

運転員の卵として、発電設備の状態を監視する業務を行っています。この1年で基礎知識が身に付き、日々の業務も落ち着いて取り組めるようになりました。さらに経験を重ねていくことで、設備の異常などを早期発見できる運転員になりたいです。



(1年前)

はら りょうへい

原 峻平(第二運転管理部) 柏崎市出身

運転員になるため、先輩と共に発電設備のパトロールを行い、運転操作などを学んでいます。すべての操作に大きな責任が伴うことを知り、地域の皆さまが安心して暮らせるよう、責任感と緊張感を持って業務に取り組んでいきたいです。



(1年前)

ふじい りょうた

藤井 亮太(第二保全部 電気機器グループ) 富山県出身

5~7号機の電気設備の安全対策工事に関する現場の確認や資料作成を行いながら、現場力の向上に努めています。安全や設備に関する知識を身に付け、安全最優先で仕事をしていきたいです。今は、米山を見ながら、田んぼ道をウォーキングをするのが日課になっています。



(1年前)

まちだ こうき

町田 航輝(第二保全部 原子炉グループ) 刈羽村出身

非常用ディーゼル発電機の保全業務を担当しています。研修期間が終わり今の部署に配属され、より一層責任感を感じています。社会・地域の皆さまのためになるよう、一つひとつの課題に向き合いながら、日々の業務に取り組んでいきたいです。

今年度も4月から63名の新たな仲間が増えました。5月号以降で紹介しますので、ぜひご覧ください。



より良い発電所運営のために、協力企業の皆さんと共に カイゼン活動*に取り組んでいます。

※東京電力グループで取り組んでいる作業効率化や業務の品質をより良くするための活動

今回ご紹介する設備点検手順の見直しや作業台の製作に関する

カイゼン活動は、柏崎刈羽原子力発電所だけでなく

東京電力グループ全体で取り組みました。

このカイゼン活動に関わった所員や

協力企業の皆さんに話を聞きました。

(2023年3月取材)

※撮影のためマスクをはずしています。



東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
第一保全部 電気機器(2-3号)グループ

みやこし しろう
宮越 俊郎

Profile

宮越 俊郎

富山県出身。柏崎市在住。2010年入社。柏崎刈羽原子力発電所に配属。計測器の保全に関する業務や運転業務に携わり、2014年より現職に至る。「休日は、日の出とともにサイクリングへ、終わり次第ジョギングに出かけます。走ることが好きなので、5月に柏崎で行われるマラソン大会に出場し、良いタイムを目指したいです。」

宮越さん・杉本さんへインタビューを行った様子を紹介しています。ぜひご覧ください。



— 普段はどのような業務を行っているのですか。

普段は1～5号機の電源設備の保全業務を担当しています。今回は、業務で担当している電源設備の配電盤についてカイゼンを行いました。配電盤とは、普通の家にもあるブレーカーのようなもので、電気の制御や安全装置としての役割を担っています。柏崎刈羽原子力発電所全体では約16,000個設置されています。

— 今回取り組んだカイゼン活動について詳しく教えてください。

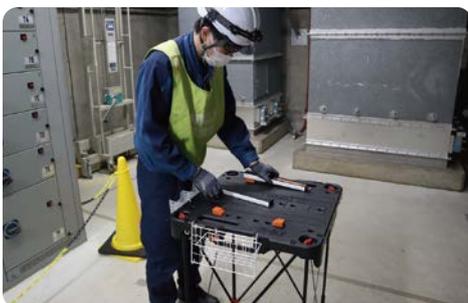
同じ東京電力グループでも、火力・水力・原子力の発電所ごとに配電盤の点検内容が違うことに気づきました。この内容を統一することでより良い点検や業務の効率化ができるのではと考え、配電盤を取り扱っている他の発電所と共に検討を行いました。手順の見直しに加え、配電盤を点検するための作業台を製作しました。

— 活動の中で苦労したことはありますか。

自分たちの発電所で使用することに適した作業台を作るため、福島第一・第二原子力発電所や横浜の火力発電所まで足を運び、実際に作業現場を見ながら検討を進めました。検討に関わったメンバーは、協力企業さんも含め30人弱にもなりました。他の発電所と共にカイゼンを行うのは初の試みでしたので、最初は進め方などで戸惑うことも多かったですが、メンバーと協力して作業台を完成させることができました。

— 今後の展望を教えてください。

配電盤は、発電所内の設備に電気を供給する重要な設備です。今回のカイゼンで業務の品質向上やリスクを下げることができ、さらに点検時間を90%以上削減することができました。今後も業務をより良くするために活動を継続していきたいです。



製作した作業台

共にカイゼン活動に取り組んだ 協力企業の皆さんに話を聞きました。

株式会社 関電工

かみやまりようすけ

上山 綾介さん



カイゼンのお話を受けて、宮越さんたちと検討しながら、手順の見直しや作業台の製作を行いました。作業台は作業員によって使いやすい高さも異なりますので、それぞれストップウォッチで作業時間を計りながら、どの高さであれば作業しやすいのか試行錯誤を重ねました。試作品を含め、今回完成したのは6台目になります。引き続き、より良い作業方法を見つけ出し、カイゼンを続けていきたいと思っています。

恒栄電設 株式会社

わだ まこと

和田 麻己人さん



作業台の製作では、他の発電所で使用しているものをベースに、自分たちの発電所で実際に使いやすい形にするため、宮越さんたちと話し合いを重ねました。点検しやすく、軽くて持ち運びやすい作業台とすることに重点を置き、苦戦しながら製作したことが印象に残っています。今後もカイゼン活動を通じて作業の安全・品質・効率の向上を目指していきます。

共にカイゼン活動に取り組んだ 上司に話を聞きました。

第一保全部 電気機器(2・3号)グループ

特保定例Iチームリーダー

すぎもと ゆうき

杉本 祐樹



宮越さん、上山さん、和田さんをはじめ、他の発電所メンバーも一丸となってカイゼンに取り組み、すべての発電所で業務の品質向上、リスクの低減、作業時間の大幅な削減を達成することができました。自分たちの発電所だけでなく、東京電力グループ全体で取り組めたことは、これからのカイゼン活動にとっても大きな糧になると思っています。引き続き、業務の品質を向上させ安全最優先で業務に取り組んでいくことで、地域の皆さまの安全・安心につなげていきたいです。

アンケートでいただいた
皆さまのご質問におこたえします



正門の渋滞はどうして 発生してしまうのですか？

発電所では、設備の維持や点検、安全対策工事などを行うために多くの方が働いています。(2023年3月時点で東京電力職員・協力企業職員合計5,446名)

発電所へ入構する際は、本人確認や荷物確認など厳格な警備を行っており、特に出勤が集中する朝6時30分～8時30分頃に、正門での渋滞が発生しやすくなっています。

地域の皆さまにご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。



現在、正門付近での渋滞を発生させないように、以下の対策を講じています。



- 出勤時間の分散
- バス通勤を基本とし入構車両数を削減
- 相乗りによる入構車両数の削減
- 警備員による誘導 など

また、警備上の問題がないことを検証しながら、「出入り管理・監視システムの更新」や「人や車両照合の機械化」等について進め、より一層の渋滞緩和に努めてまいります。

地域の皆さまと共に～社員による地域共生活動～

2022年度は、地域でのイベント補助や除草・除雪など100件を超える様々な活動に、延べ1,033名の社員が参加しました。

【参加した社員の声】



地域の皆さまと触れ合い、原子力に関することで皆さまを不安にさせてはいけないと改めて感じました。

活動を通して子供たちの笑顔を見て、この笑顔を守るためにも安全最優先で業務に努めようと思いました。



刈羽村 クリーナーの様子



柏崎市 除雪ボランティアの様子

エコロンも社員と一緒に地域の皆さまと触れ合う機会を増やしていきたいな



Webアンケートはこちら

添付のはがきの代わりに、Webからでもアンケートにご回答いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。発電所に対するご意見・ご要望もご記入いただけます。



発電所公式SNS



発電所公式LINEアカウント

サービスホールなど発電所の広報施設のイベント情報、地域のお店とタイアップしたお得なクーポンなどを毎月配信中!

★クーポンなどの協力店さまを募集しています★



友だち追加はこちら



発電所公式Instagram

発電所の日常や地域の風景をテーマに写真を投稿しています!



こちらからアクセス!

- ① 現在の発電所についてお聞かせください。
 - ① 信頼できる
 - ② まあ信頼できる
 - ③ あまり信頼できない
 - ④ 信頼できない
- ② 以下の中から、気になった記事をお選びください。
 - ① 発電所ニュース(P1)
 - ② おしえて!エコロン(P2)
 - ③ 発電所の一員として(P3~P4)
 - ④ 皆さまのご質問におこたえします(P5)
 - ⑤ 地域の皆さまと共に(P6)
- ③ ②の記事を選んだ理由をお聞かせください。

- ④ 皆さまからいただいた声を発電所の業務に活かしていきたいと考えております。発電所に対するご意見や改善点などがありましたらお聞かせください。

Webアンケートでご応募いただくと、当選確率がUPします。

■ 読者プレゼントに応募する

ご希望の方は右の欄に○をお付けください。



※裏面のお名前、年齢、ご住所、電話番号を必ずご記入ください。なお、ご記入いただく内容については、お間違いのないようお願いいたします。

サービスホール4月の催し 参加無料

工作教室

土・日・祝開催 開館時間:9時~16時30分
※12時~13時を除く

毎月違った3種類の工作をご用意♪
難易度に合わせて、小さなお子様でも
楽しくチャレンジできます。



お花のメッセージカード



ロープわなげ



卓上こいのぼり

サービスホール 新学期わくわくチャレンジ

4月15日(土)・16日(日)

発電所構内で特別な車両を見学!

構内に入る際は「本人確認※」が必要です。

※18歳以上の方は「運転免許証」または「マイナンバーカード」
18歳未満の方は「健康保険証」または「マイナンバーカード」をお持ちください。

他に展示館クイズやバルーンアート作りもあるよ!



※やむを得ない事情により、一部内容の変更や中止となる
場合がございますので予めご了承ください。

お問い合わせ / 柏崎刈羽原子力発電所サービスホール TEL.0120-344-053 (9時~17時)



料金受取人払郵便

郵便はがき

945-8790

柏崎局
承認

69

柏崎市青山町16番地46

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行

差出有効期間
2024年11月30日
まで
(切手不要)



きりとり線
✂

ふりがな _____ 年齢 _____ 歳

お名前 _____ 男・女・回答しない

〒 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

ご記入いただきました内容については、商品の発送、紙面づくり等に利用いたします。また、個人情報については適切に管理いたします。(2023年4月号)

ニュースアトムは、発電所広報施設(サービスホール、エネルギーホール、カムフィ、き・な・せ)に設置しております。ご自由にお持ちください。また、発電所ホームページなどWebでもご覧いただけます。

へんしゅう後記

義実家からたくさん玄米をもらうので、最近では精米機で少しずつ精米してから食べています。精米したてのフレッシュなお米を食べて、今年度も頑張ります!(西)



3月に妹の中学校の卒業式に出席しました。卒業合唱で妹が指揮者をしている姿を見て、姉として誇らしい気持ちになりました。卒業式の後には、担任の先生が作ったサプライズの動画を皆で見ながら学校生活を楽しそうに振り返っていました。高校生活も楽しく過ごしてほしいです。(楓)

■今月号の表紙 / 「水仙と桜咲く鶴川河畔」
撮影場所: 柏崎市上条
撮影時期: 2022年4月



2023年4月2日発行

●編集発行責任者
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601
柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448
(平日9時~17時)

《検索》

柏崎刈羽原子力発電所 🔍